

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス いきるちから2				公表日	令和8年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・個室があるため、状況に応じてフロアの使い分けを行っている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1		・送迎時に職員が少ないときの取り組みに工夫を要する	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・視覚的にわかりやすい工夫がなされている(ホワイトボードでの活動、送迎予定、タイムスケジュールなど)		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・毎日清掃、適宜換気を行っている	・小学生や少人数での活動(環境)を好む児童に対しては、個室の使用を促したり、必要に応じてフロアを区切るなどする工夫をしていく ・活動時以外の時間にこまめに換気をし、活動後は玩具等の消毒を日々行う	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・面談で使用したり、個別の関わりにおいて環境設定下で取り組みを行える環境がある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・日々のミーティングで共有ができています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・評価表のご意見に全て目を通し、周知している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎朝朝礼時に振り返りの時間を設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・都道府県から認証された評価機関からの評価は受けていないが、「いきるちから」の他事業所からの評価に対し、業務改善に繋げている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・事業所内はもちろん、外部研修にも意欲的に参加している		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・計画書作成の一連の流れの中で児発管、現場職員での共有ができています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・会議の場で現場の意見が取り入れられている、児発管との相互のやり取りができています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・全員で個人の様子や計画書の内容を振り返りを行い、意見を出し合い作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0			

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・月に1回、毎日の集団活動の内容会議を実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・毎日必ず、5療育を取り入れた活動（集団レクリエーション）が行えるよう日々取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・児童にとって必要な支援を個別、集団を意識して支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・当日に行うレクリエーションやその他の段どりにおいて、必ず周知できるよう情報共有を行っている	・当日休みの職員との共有は事前の申し送りや朝礼ノートを用いて漏れないよう意識していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・当日、または翌日の朝礼時に必ず情報共有を行っている	・当日その場で行えない場合は翌日の朝礼にて必ず実施する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・専門的個別支援記録、強度行動障がい記録を日々とっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・地域交流の機会の提供を積極的に取り入れている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	・児童に合わせて声掛けや環境設定などを工夫して対応することができている	・こちらから連携をとることが少ない為、必要に応じて積極的に横のつながりをもてるよう準備、行動していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	・いきるちから内の事業所間で共通の意識をもち、春の段階から個別で声掛けをして、目的に応じた事業所へスムーズに移行できるよう、心掛けている	・保育所などの学校関係機関との情報共有が間接的（保護者経由）な場合が多い為、直接相互理解の機会を設けられるよう今後動きを検討していく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5		・保護者からの依頼により動き始めるため、いつその時がきても良いように準備、行動していく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・地域イベントに積極的に参加する機会が増えてきている	・地域児童との交流の場がほとんどなく、今後どのように図っていくか検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・帰りの送迎時を中心に、必要に応じ適宜LINEや電話にて情報共有を行っている ・日々のサービス提供記録（連絡帳）で情報共有を行っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4		・今後どのような取り組みの仕方をしていくか、保護者の意見を伺いながら検討していく	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時や定期的な面談時、必要に応じてご説明を行っている		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・定期的な面談に児童本人も参加していたり、その都度必要に応じて直接お話を伺っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・必要に応じて相談支援員との連携を図り、チーム全体でサポートする体制を心掛けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・保護者参加型のイベントを企画している	・保護者にアンケートをとったり、その都度意見を伺いながら、必要に応じて定期開催を行っていか検討していく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・上司へ報告、相談をした上で対応している	
	41	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・毎日ブログを発信し、日々の取り組みの様子や職員からの気持ち等を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		・作業効率を図る中でも情報管理はより精密に行っていく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・全体への情報共有に加えて、個別での対応を行っている ・翻訳機を使って細かな情報共有を行っている	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・招待する経験がないため、いつもお世話になっている地域の方々に対して、今後検討していく	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・年間計画にてマニュアルの見直しや訓練を取り入れている	・契約後の周知は不足しているため、日頃から意識して周知、報告できる段取りを検討していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・職員だけの取り組みや、ご利用者も一緒に行う訓練を定期的実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	・事前またはその時々に応じて確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	9	0	・必要に応じて指示書に基づいて対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・事前に月間カレンダー、送迎時にお伝えするなど周知を図っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・事象が起きてすぐに共有している また翌日朝礼時に再度共有し、再発防止にむけ環境設定や取り組みを行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	・虐待防止の研修を年に1回実施している	・研修だけでなくとどまらず、日々の療育において適切な対応を行えるよう朝礼などで話し合える環境を整えていく
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		